

シンクロナイズド リンク システム

取扱説明書

このたびは、SANWA SUPER VORTEX Gen2、RX-482/RX-472/RX-47Tレシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書は、M12S/EXZES ZZとSUPER VORTEX STOCKとRX-482/RX-472/RX-47Tを組み合わせて動作するSSLシステムの取り扱いに関する手順、注意事項について説明しています。本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取り扱いいただくようお願い申し上げます。



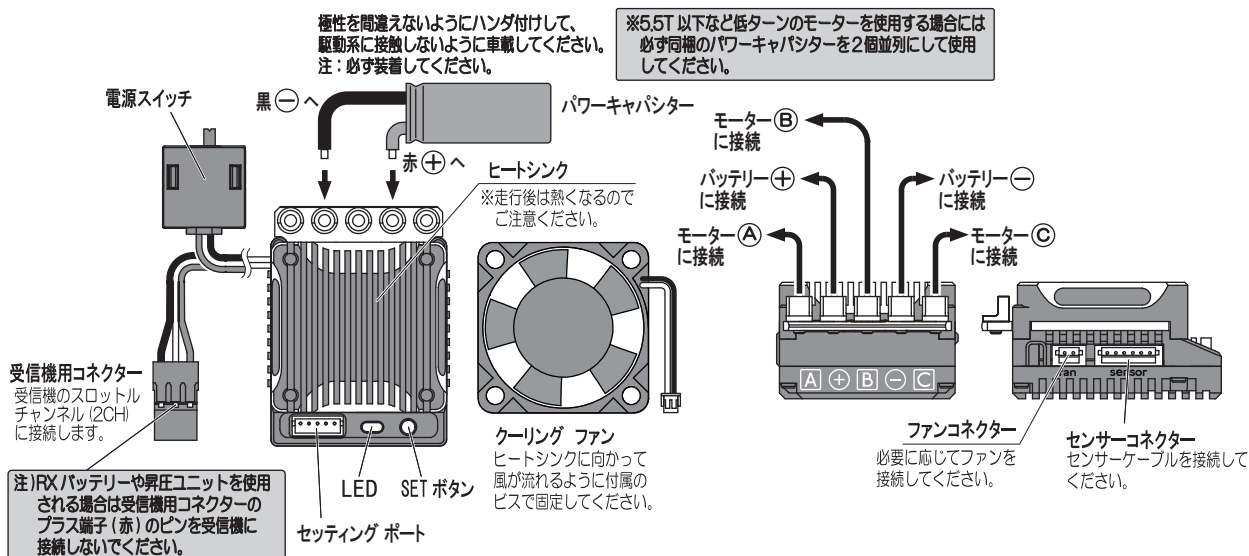
SSL システムについて

M12S/EXZES ZZとRX-482/472/47T、SUPER VORTEX Gen2を組み合わせることで、送信機からSUPER VORTEX Gen2の設定値を変更できるSSLコードAUXと、SUPER VORTEX Gen2がRX-482/RX-472/RX-47TのBATT/SSLポートに接続されている場合にモーター回転数、バッテリー電圧、SUPER VORTEX Gen2とモーター温度(モーター内部に温度センサーが内蔵されている場合のみ)のデータが外部センサー不要で送信機にテレメトリー通信(送信機のテレメトリー設定が「ON」の場合)が可能なSSL-テレメトリーの2つの機能がSSLシステムです。
レースなどでAUX(3ch、4ch)の使用が禁止されている場合は通常の受信機と同様にRX-482/RX-472/RX-47Tの2chに接続して動作させてください。



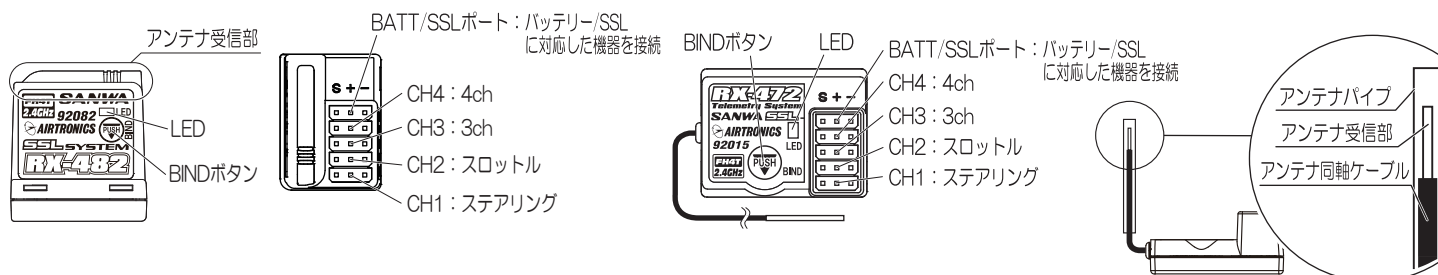
各部の名称

- SUPER VORTEX Gen2は付属の12AWG/パワーワイヤーでバッテリー、モーターに接続します。ハンダ付けの際は逆接やショートに注意してください。
ハンダ付けの作業をおこなう際にはハンダこてを溶だターミナルに5秒以上あててください。(本体にダメージを与える場合があります。)
※12AWGパワーワイヤーは黒のみとなっておりますので、同極の極性識別用収縮チューブを使用して極性を間違えないようにしてください。
- 各ワイヤーをスピードコントローラー、バッテリー、モーターに接続してください。
必ずセンサーケーブルをSUPER VORTEX Gen2とモーターに接続してください。



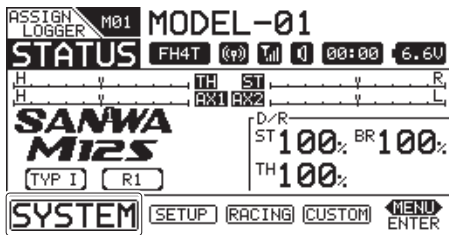
対応する受信機について

- 受信機とアンテナが搭載される場所、アンテナ内蔵式のRX-482の場合にはアンテナ受信部の位置により、受信距離が異なります。
RX-482を使用する場合にはアンテナ内蔵部がなるべく高い位置になるように受信機を設置してください。
- RX-472、RX-47Tの場合にはアンテナ受信部(先端から約3cm)を保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
- アンテナ受信部は絶対に折り曲げないでください。また、アンテナ同軸ケーブルを無理に折り曲げないでください。
- 同軸ケーブルを無理に引っ張らないでください。受信機内部の破損の原因となります。

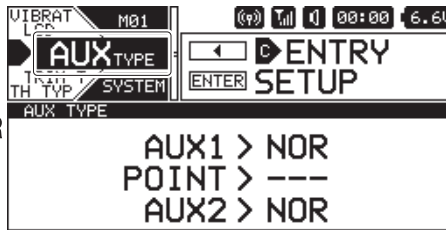


- M12S, EXZES ZZのシステムメニュー内のAUX TYPEの設定を変更します。
出荷時にはAUX1とAUX2の設定が[NOR]になっておりますのでAUX1の設定を[CODE10]に変更します。
※AUX TYPEの設定変更をおこなわないとSSLの機能は使用できません。

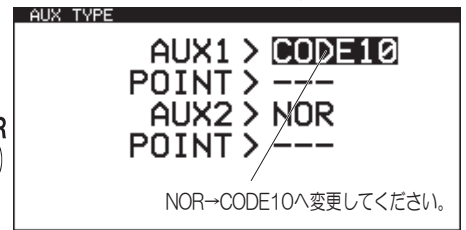
ステータス画面



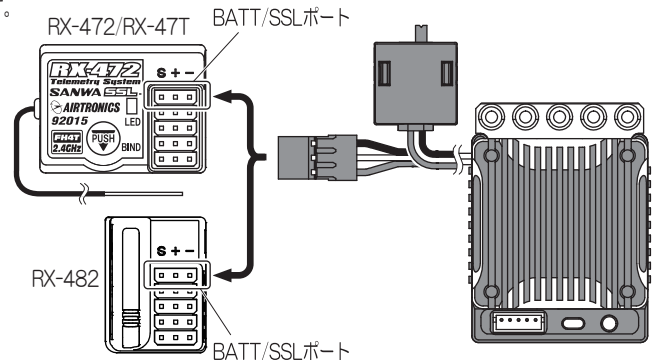
エーユーエックスタイプ画面



エーユーエックスタイプ設定画面



- SUPER VORTEX Gen2の受信機用コネクタをSSLに対応する受信機のBATT/SSLポートに接続します。
注)RX-472, RX-482, RX-47TのBATT/SSLポートにはSSLシステムに対応した機器が受信機バッテリー以外は絶対に接続しないでください。受信機が正常に動作しません。
- 送信機と受信機をBIND(バインド)します。
注)BIND(バインド)する際にM12S, EXZES ZZの[MODULATION]が[FH4T]に設定されていることを確認してください。[FH3/FH3F]ではSSLシステムは動作しません。
- SSLシステム動作時にはSUPER VORTEX Gen2はSSL独自の動作レスポンスになります。
(動作レスポンスとしてはSSRとSHRの中間になります。)
- ※NOR/SHR/SSRのレスポンスモードで動作させる場合には、SSL-コードAUXで送信機から調整した各設置値をSUPER VORTEX Gen2本体に保存してから、受信機のCH2に接続して使用してください。
- ※レースのレギュレーション等で3ch, 4chが使用できない場合は通常のレシーバー同様CH2に接続します。



- SUPER VORTEX Gen2をセットアップする前にM12S/EXZES ZZの設定を下記の通りに合わせてください。

D/R-TH デュアルレート-スロットル ハイ側 / ブレーキ側	TH 100% / BR 100%
EPA-TH エンドポイントアジャスト-スロットル ハイ側	100% H
EPA-TH エンドポイントアジャスト-スロットル ブレーキ側	100% B
EXP-TH エクスポンシャル-スロットル ハイ側 / ブレーキ側	0%
ARC-TH アジャスタブルレートコントロール-スロットル ハイ側 / ブレーキ側	0%
スロットルトリム	センター
SUB TRIM-TH サブトリム-スロットル	0
スロットル リバース	NOR/REVどちらでも可 セットアップ完了後の変更は禁止

- セットアップ(ニュートラル/ハイポイント/ローポイント)は下記にしたがっておこなってください。

1

スピードコントローラーの電源スイッチがOFFになっていて、バッテリーが接続されていない事を確認してください。ヒニオンギアをはずして、RCカーのタイヤに動力が伝わらないようにしてから、スロットルトリガー / スティックをニュートラルにして送信機の電源をONにしてください。

2

スピードコントローラーにバッテリーを接続して、SET ボタンを押しながら電源スイッチがONにしてください。セットアップモードに入り緑のLEDが点灯します。

3

スロットルトリガー / スティックが「ニュートラル」の状態です。SET ボタンを押してください。ニュートラルの位置が記憶されて、緑が消えて青のLEDが点灯します。

4

スロットルトリガー / スティックを「フルスロットル」にしてSET ボタンを押してください。フルスロットルの位置が記憶されて、青が消えて赤のLEDが点灯します。

5

スロットルトリガー / スティックを「フルブレーキ」にしてSET ボタンを押してください。フルブレーキの位置が記憶されて、青 / 赤 / 緑のLEDが点灯します。
※以上でセットアップは完了です。途中で終了した場合に設定は保存されません。

- スロットルトリガー/スティック操作時のLED動作

- ・RX-472, RX-482, RX-47TのBATT/SSLポートに接続されている場合のスロットルトリガー/スティックを操作したときのSUPER VORTEX Gen2のLED動作

スロットル操作	LED 動作
ニュートラル (SSL 有効時)-ブースト動作 OFF	緑色点灯 + 青色点滅
ニュートラル (SSL 無効時)-ブースト動作 ON	緑色点滅 + 青色点灯
フルスロットル以外の前進	緑色高速点滅
フルスロットル	青色点灯
フルブレーキ以外のブレーキ	赤色高速点滅
フルブレーキ	赤色点灯

- ※SSL-コードAUX動作中にSUPER VORTEX Gen2のSETボタンを長押し(約4秒)すると送信機で調整した設定値がESC本体に保存されてSSL-コードAUX動作が無効になります。(緑色LED点滅)再度SETボタンを長押しするとSSL-コードAUX動作が有効になります。(P.04を参照してください。)

- ・RX-472, RX-482, RX-47TのCH2に接続されている場合でスロットルトリガー/スティックを操作したときのLED動作

スロットル操作	LED 動作
ニュートラル-ブースト動作 OFF	青色点滅
ニュートラル-ブースト動作 ON	青色点灯
フルスロットル以外の前進 (SSR 動作時)	青色高速点滅
フルスロットル以外の前進 (NOR/SHR 動作時)	赤色高速点滅
フルスロットル	青色点灯
フルブレーキ以外のブレーキ	赤色高速点滅
フルブレーキ	赤色点灯

注) SUPER VORTEX Gen2のモード1~4はSSL-コードAUXには対応しておりません。使用する用途にあわせてあらかじめSETボタンで設定をおこなってください。
モード4の設定をブースト動作有りの「#2」に設定しないと、モード10~13の設定を変更しても動作には反映されません。

○モード1(カットオフバッテリー) ※使用するバッテリーに合わせてカットオフバッテリーの設定をおこなってください。

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モードLED 1 回点減	なし (OFF)	3.0v	3.3v	3.6v	4.0v	4.4v	4.8v	5.2v	5.6v	6.0v	6.4v

○モード2(バックキャンセル: バックは前進の50% 動作になります。)

設定	#1	#2
モードLED 2 回点減	バック動作無し	バック動作有り

○モード3(ヒートプロテクト: 本体温度 / モーター温度) ※モーター温度のヒートプロテクトはモーターに温度センサーが装着されていない場合は動きません。

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6
モードLED 3 回点減	120℃/80℃	120℃/90℃	120℃/100℃	120℃/110℃	120℃/120℃	OFF/OFF

○モード4(ブースト) ※設定が#1の場合は青色LEDが点滅し、#2の場合は青色LEDが点灯します。

設定	#1	#2
モードLED 4 回点減	ブースト動作無し	ブースト動作有り

※レギュレーションでノンブースト/ゼロタイミングが規定されているレースに参加する場合は、モード4の設定は必ず「#1」に設定してください。

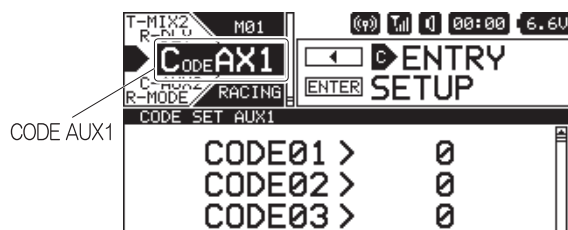
注) SUPER VORTEX Gen2のSETボタンで設定してください。(表記中グレーの項目が出荷時の設定です。)

●送信機からダイレクトかつリアルタイムにSUPER VORTEX Gen2の各種パラメーターを変更するSSL-コードAUXは、M12S/EXZES ZZに装備されているレーシングメニュー内のCODE AUX1の設定値を調整することでおこなえます。

CODE AUXのSUPER VORTEX Gen2の対応機能について

マルチセクターでCODE1~CODE10の設定値を使用する用途に合わせて調整してください。

CODE AUX1選択画面 (レーシングメニュー内)



⇒
ENTER
(エンター)

CODE AUX1設定画面



送信機 機能	対応機能	設定範囲	動作
CODE AUX1 CODE1	モード5 スロットルパンチ	0~100	スロットルトリガー/スティックを操作してモーターが回り始める際のパンチを調整できます。設定値が低い場合はパンチが弱く、高い場合には強くなります。17.5Tストックモーターでの推奨値は「60~80」
CODE AUX1 CODE2	モード6 ニュートラルブレーキレイト	0~100	スロットルトリガー/スティックがニュートラル時のブレーキの効きを調整できます。設定値が低い場合はニュートラルブレーキの効きが弱く、高い場合には強くなります。
CODE AUX1 CODE3	モード7 ドライブフィール	0~100	モーター特性を調整する機能で、設定値を高くするとスロットルON時のレスポンスが滑らかになり、設定値が低い場合はスロットルOFF時のモーターの回転落ちが早くなります。
CODE AUX1 CODE4	モード8 ニュートラルブレーキフィール	0~100	ニュートラルブレーキの特性を調整できます。設定値を高くするとニュートラル時のブレーキの効きが滑らかになります。
CODE AUX1 CODE5	モード9 ブレーキフィール	0~100	ブレーキの特性を調整できます。設定値を高くするとブレーキの効きが滑らかになります。
CODE AUX1 CODE6	モード10 ブーストレイト/進角	0~100	最大ブーストタイミング(進角加算)の設定をおこないます。設定値を高くするとスピードコントローラー本体やモーターが過電流や温度上昇により壊れる可能性があります。※設定が「0」の場合にはブースト、ターボは動作しません。
CODE AUX1 CODE7	モード11 ターボ/スロットル全開時の進角加算	0~50	スロットルが全開(100%)になった際に動作する進角加算の設定をおこないます。設定値を高くするとスピードコントローラー本体やモーターが過電流や温度上昇により壊れる可能性があります。
CODE AUX1 CODE8	モード12 ブーストスタート	0~100	ブーストが動作する回転数の設定になります。「0」でブーストスタートが23,000rpm、「100」が3,000rpmとなりCODE8の1ステップで「200rpm」つつブーストスタートの回転数が変化します。17.5Tストックモーターでの推奨値は「80付近」
CODE AUX1 CODE9	モード13 ブーストアクセレレーション	0~100	進角加算量の調整で1,000rpm当たりの進角加算量となります。推奨値として17.5Tストックモーターで「45~80」13.5Tストックモーターで「14~45」、モデファイモーターの場合は「1~8」がおススメになります。
CODE AUX1 CODE10	モード14 ニュートラルレッドバンド	10~50	スロットルトリガー/スティックのニュートラルでの「遊び」を調整する機能です。「10」では遊びが少なくなり、「50」では大きくなります。推奨値として17.5Tストックモーターなどの場合は「25以下」、モデファイモーターの場合には「25以上」がおススメとなります。

注) M12S/EXZES ZZのCODE AUX1のCODE1~CODE10の設定値が「0」の場合、RX-472/RX-482/RX-47TのBATT/SSLポートにさされていてSSL-コードAUXが有効の場合にはSUPER VORTEX Gen2の電源をONした時点でモード5~14の設定が「#1」になります。使用する用途に合わせてあらかじめCODE AUX1の設定をおこなってください。

注) SSL-コードAUXが有効の場合に、SUPER VORTEX Gen2のSETボタンで設定変更をおこなった場合には、SETボタンでの設定が適用されますのでご注意ください。

SETボタンで設定変更をおこなう場合に、プログラムモードの途中で電源をOFFにした場合には、変更した設定は本体に保存されません。必ずSETボタンを操作して、プログラムモードから動作モードへ移行してください。

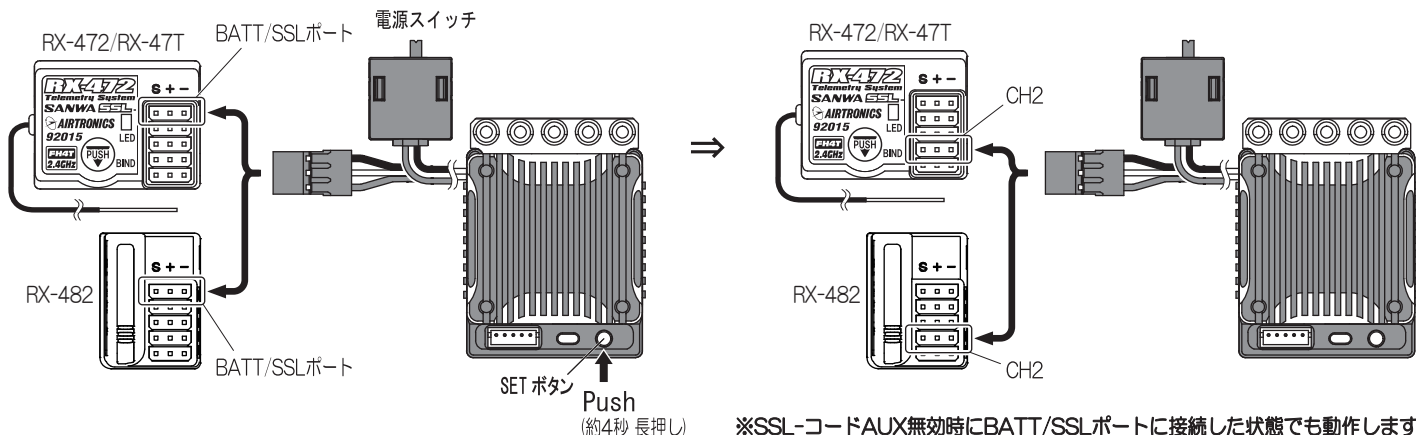
注) 推奨値は1/10EPツーリングカーでの推奨値になり、使用するモーター、バッテリー、コースの大きさによって変化します。実際に走行させながら機器の温度に注意しながら設置値を調整してください。

注) CODE10の機能が装備されていないM12、EXZES Z、MT-4S、MT-Sの場合はCODE AUXで設定変更可能な機能はスロットルパンチ/ニュートラルブレーキレイト/ドライブフィール/ニュートラルブレーキフィール/ブレーキフィールのみにあります。

- レースなどでAUX(3ch, 4ch)チャンネルの使用が禁止されている場合や、SSLシステムを使用しない場合、NOR/SHR/SSRのレスポンスモードで使用する場合には、SSL-コードAUXで調整した設定値をSUPER VORTEX Gen2本体に保存してRX-472/RX-482/RX-47T以外の受信機と同様、CH2に接続して動作させてください。

1)RX-472/RX-482/RX-47TのBATT/SSLポートに接続されていて、SUPER VORTEX Gen2のLEDがSSL-コードAUXの有効を表す緑色に点灯している状態でSETボタンを長押し(約4秒)します。

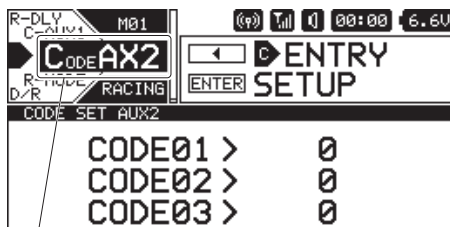
2)SETボタンを長押しすることで、SSL-コードAUXの有効⇄無効が切り替わり、SSL-コードAUXが有効から無効になる際に送信機で設定した各パラメーターのデータがSUPER VORTEX Gen2本体に保存されますので、コネクターをCH2に差し替えて動作させてください。
※SSL-コードAUX無効時はLEDが緑色点滅になります。



※SSL-コードAUX無効時にBATT/SSLポートに接続した状態でも動作しますが、レスポンスモードはSSLシステム独自のレスポンスでの動作になります。(動作レスポンスとしてはSHRとSSRの中間になります。)

- SUPER VORTEX Gen2とM12S/EXZES ZZとSSL-コードAUXシステムに対応するRX-472/RX-482/RX-47Tの組合せで使用する場合にはCODE AUX2は使用しません。CODE AUX2はSUPER VORTEX Gen2とSGS-01C, SGS-01Dジャイロシステムを併用して使用する場合にジャイロシステムの調整をおこなう際に使用します。

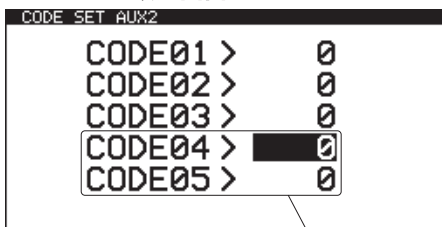
CODE AUX2選択画面 (レーシングメニュー内)



CODE AUX2

⇒
ENTER
(エンター)

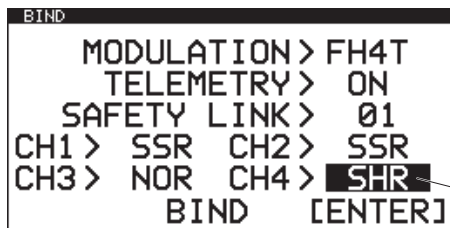
CODE AUX2設定画面



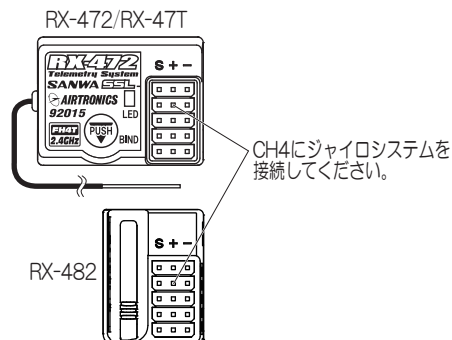
ジャイロシステム調整用

- SUPER VORTEX Gen2と併用する場合に、ジャイロシステムの調整用に使用するCH4のレスポンスモードは必ず[SHR]に設定してBIND(バインド)してください。[SHR]以外のレスポンスモードに設定するとジャイロシステムの設定を送信機から調整できなくなります。

設定画面



CH4を[SHR]でBINDしてください。



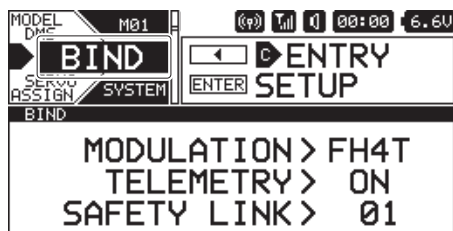
注) ジャイロシステムの調整についてはジャイロシステムの取扱説明書に従って調整してください。

●M12S/EXZES ZZとRX-472/RX-482/RX-47T, SUPER VORTEX Gen2を組み合わせることで、SSL-コードAUXとSSL-テレメトリーの連携によってモーター回転数とバッテリー電圧、SUPER VORTEX Gen2本体とモーター温度(モーター内部に温度センサーが内蔵されている場合のみ)が外部センサーを搭載せずに送信機へテレメトリー通信をおこなえることと、送信機で設定した電圧や温度でブザーやバイブレーターを動作させることで機器の破損や損傷を未然に防ぐことができるようになります。

1)システムメニュー内のBINDメニューでMODULATIONが[FH4T], TELEMETRYが[ON]に設定されていることを確認します。

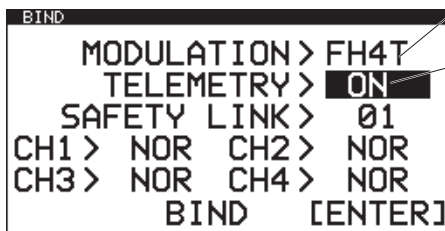
注)TELEMETRYの設定が[OFF]の場合は[ON]に変更してください。(変更後、再BINDの必要はありません。)

バインド選択画面 (システムメニュー内)



⇒
ENTER
(ENTER)

設定画面

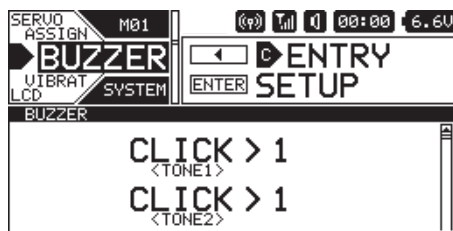


MODULATIONの設定が
[FH4T/FH4FT]であることを確認

TELEMETRYの設定が
ONであることを確認

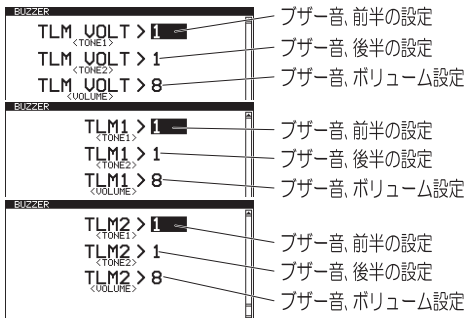
2)システムメニュー内のBUZZER(ブザー)の設定をおこないます。

ブザー選択画面 (システムメニュー内)



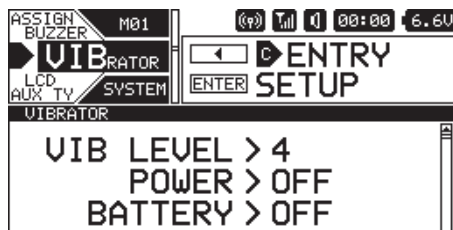
⇒
ENTER
(ENTER)

ブザー設定画面 (テレメトリー)



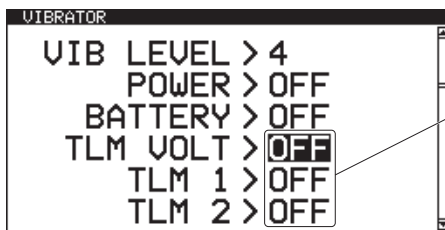
3)システムメニュー内のVIBRATOR(バイブレーター)の設定をおこないます。

バイブレーター選択画面 (システムメニュー内)



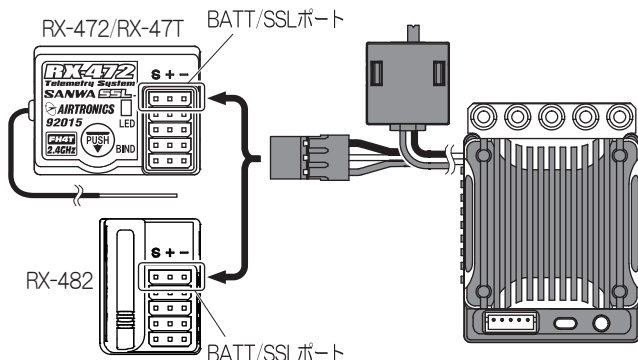
⇒
ENTER
(ENTER)

バイブレーター設定画面



用途に合わせてON/OFFの設定を
おこなってください。

4)SUPER VORTEX Gen2がRX-472/RX-482/RX-47TのBATT/SSLポートに接続されていることを確認します。



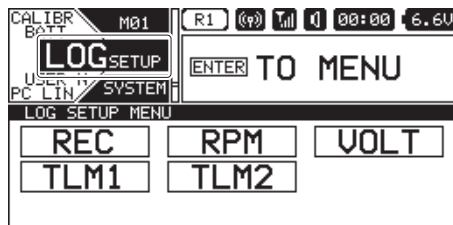
5)システムメニュー内のLOG SETUP(ログセットアップ)のLOG VOLT(ログ ボルト)を設定します。

・LOG VOLTの設定

LOG SETUP内のLOG VOLTを選択してブザー/バイブレーターを動作させる電圧の設定をおこないます。

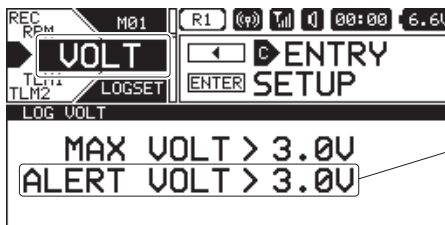
(※LOG VOLTは走行用バッテリーの電圧になります。)

ログ セットアップ (システムメニュー 選択画面)



⇒
ENTER
(ENTER)

ログ VOLT選択画面



ブザー/バイブレーターを動作させる
電圧を設定します。

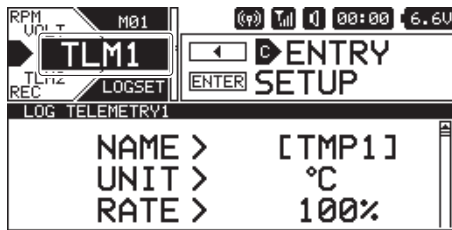
6) システムメニュー内のLOG SETUP(ログセットアップ)のTLM1、TLM2のALERTの設定をおこないます。

・TLM1 ALERTの設定

LOG SETUP内のTLM1のALERTを選択してブザー/バイブレーターが動作する温度の設定をおこないます。

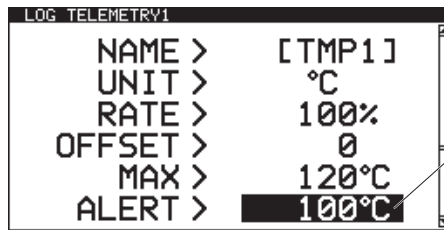
(※TLM1はM12S/EXZES ZZの出荷状態ではSUPER VORTEX STOCK本体内部の温度になります。)

TLM1選択画面(システムメニュー内)



⇒
ENTER
(エンター)

ログ テレメトリー1設定画面



ブザー/バイブレーターを動作させる
温度を設定します。

・TLM2 ALERTの設定

LOG SETUP内のTLM2のALERTを選択してブザー/バイブレーターが動作する温度の設定をおこないます。

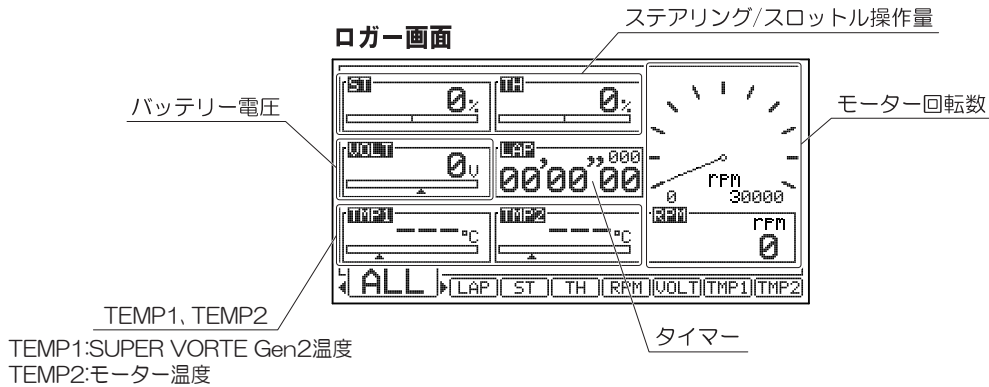
設定方法はTLM1と同様におこなってください。

(※TLM2はM12S/EXZES ZZの出荷状態ではモーター内部の温度になり、モーター内部に温度センサーが内蔵されていない場合には動作しませんのでご注意ください。)

○以上の設定でSSL-テレメトリーにより、使用しているバッテリー電圧や機器の温度が設定した状態になるとブザーやバイブレーターを動作させることが可能になります。

SSL-テレメトリーが有効の状態でロガー画面にモーター回転数、バッテリー電圧、温度2系統の情報がリアルタイムに表示されます。

※モーター回転数、バッテリー電圧、温度2系統のリアルタイム表示はMT-4Sでも可能です。TELEMETRY SETTINGメニューの設定で可能になります。



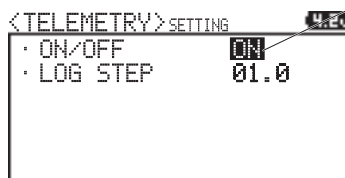
●MT-4SやMT-SでもSSL-テレメトリーによってモーター回転数とバッテリー電圧、SUPER VORTEX Gen2本体やモーター温度が外部センサーを搭載せずに送信機へテレメトリー通信が可能で、送信機で設定した電圧でブザーを動作させることで機器の破損や損傷を未然に防ぐことができます。

注) MT-4S/MT-SはCODE10には対応しておりませんのでSUPER VORTEX Gen2のCODE10に対応した機能を送信機から調整することはできません。

1) SYSTEMメニュー内のTELEMETRY SETTINGの設定を確認します。

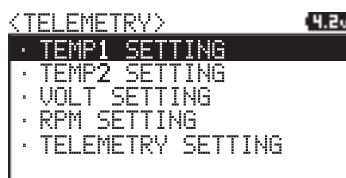


⇒
ENTER
(エンター)

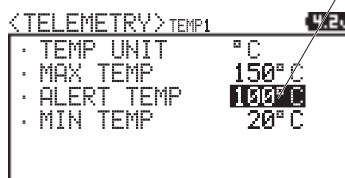


OFFでは
テレメトリーは
動作しません。

2) TEMP1、TEMP2 SETTINGのアラーム設定をおこないます。

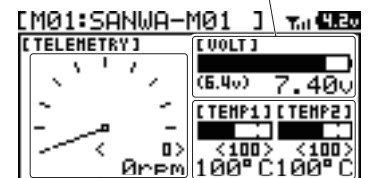


⇒
ENTER
(エンター)



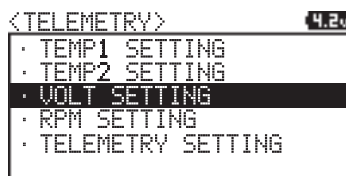
アラームを動作させる
温度を設定します。
(※TEMP2も同様に)

テレメトリー画面

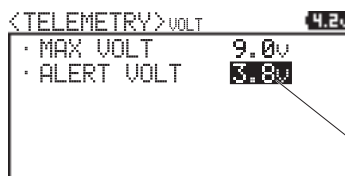


バッテリー電圧

3) VOLT SETTINGのアラーム設定をおこないます。



⇒
ENTER
(エンター)



アラームを動作させる
電圧を設定します。

モーター回転数

TEMP1, TEMP2
TEMP1: SUPER VORTE Gen2温度
TEMP2: モーター温度

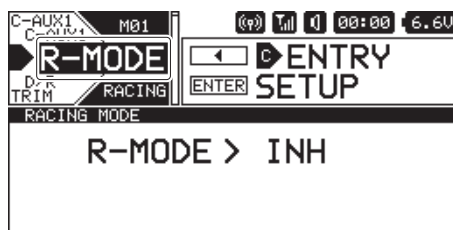
●M12S/EXZES ZZに搭載されているレーシングモード機能を使用して、SUPER VORTEX Gen2の設定値をあらかじめ数種類設定しておくことで、より短時間で使用するモーターの特性やドライビングの好みに合わせた設定値の組合せを絞り込む事が可能になります。

注)SSL-コードAUXが無効の状態ではレーシングモード機能を利用しての切り替えができませんのでご注意ください。

・RACING MODE(レーシングモード)の設定

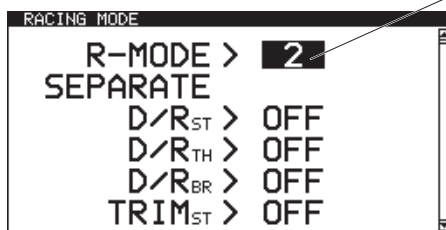
レーシングメニュー内のRACING MODE(レーシングモード)を選択して[INF]→[2]～[5]に設定します。

レーシングモード選択画面 (レーシングメニュー内)



⇒
ENTER
(インター)

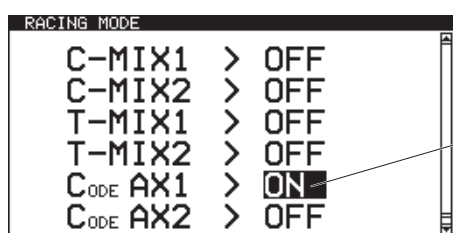
レーシングモード設定画面



用途にあわせて
[2～5]に設定します。

R-MODEを[2～5]に設定すると各メニューのSEPARATE(セパレート)が表示されます。
マルチセレクトを操作してCODE AUX1を選択して、設定を[OFF]→[ON]に設定します。

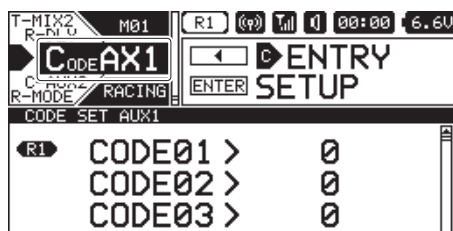
レーシングモード設定画面



[ON]に設定します。

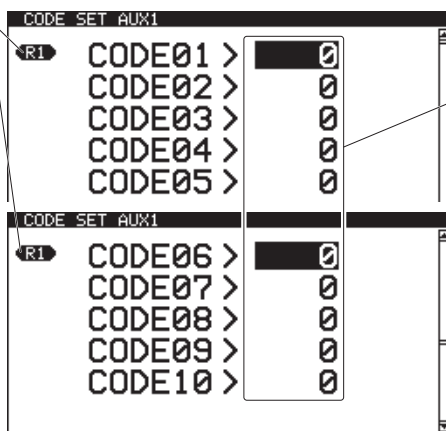
レーシングモードのCODE AUX1のセパレート設定を[ON]にするとCODE AUX1のCODE1～CODE10の設定値をR-MODE1(レーシングモード1)～R-MODE5(レーシングモード5)にそれぞれ5種類設定することが可能になります。

CODE AUX1選択画面



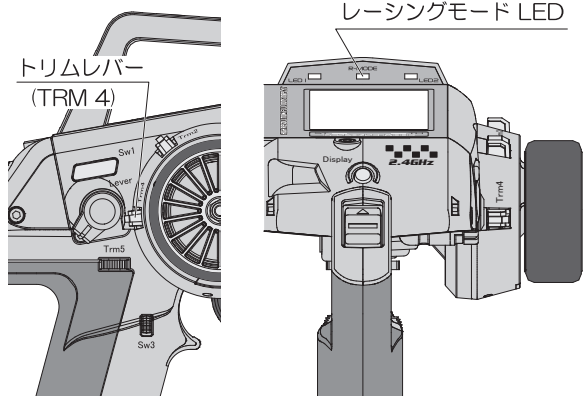
⇒
ENTER
(インター)

CODE AUX1設定画面



CODE1～CODE10にR-MODE1～5
(レーシングモード1～5)の設定値を
持たせることが可能です。

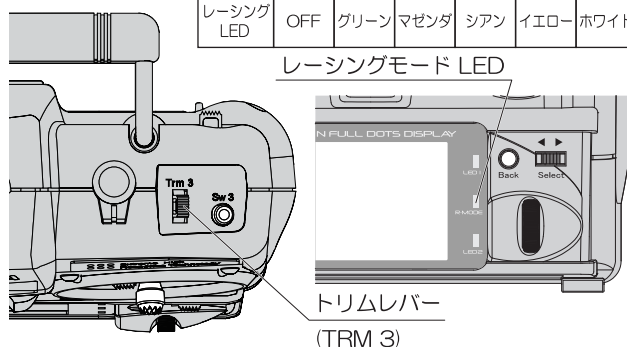
レーシングモードの切り替えは、出荷状態ではM12Sはトリムレバー4(TRM 4)、EXZES ZZはトリムレバー3(TRM 3)に割り当てられています。
機能が割り当てられたトリムを操作した時のレーシングモードLEDの色が変化することでレーシングモードの設定が確認できます。



レーシングモード LED表示

モード	LED	OFF	R1	R2	R3	R4	R5
レーシング LED	OFF	グリーン	マゼンダ	シアン	イエロー	ホワイト	

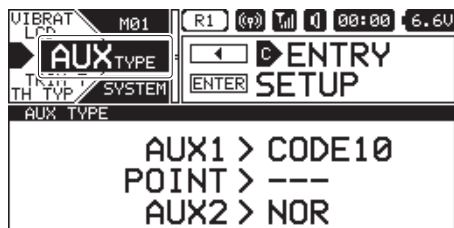
レーシングモード LED



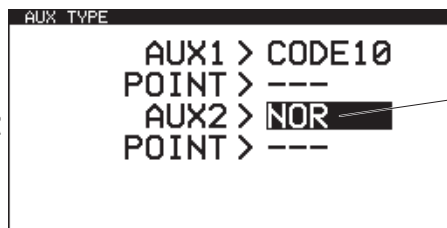
注)レーシングモードで切り替えが可能な状態で、SETボタンを長押ししてSSL-コードAUXを無効にした場合には、選択されているレーシングモードの設定がSUPER VORTEX Gen2本体に保存されてSSL-コードAUXが無効になります。

- M12S/EXZES ZZに搭載されているSSLシステムを使用しながらAUXチャンネルを使用してジャイロなどの外部機器の調整をおこなえます。SUPER VORTEX Gen2と併用する場合はAUX2を使用して外部機器の設定変更をおこないます。
- ・ AUX2で外部機器の調整をおこなう場合の設定
システムメニュー内のAUX TYPEのAUX2の設定を[NOR]に設定します。

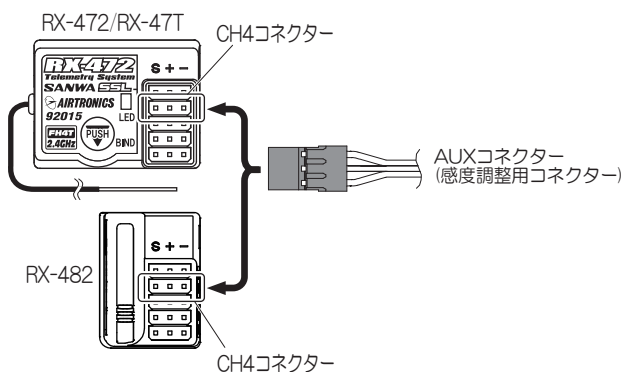
エーユーエックスタイプ画面



エーユーエックスタイプ設定画面

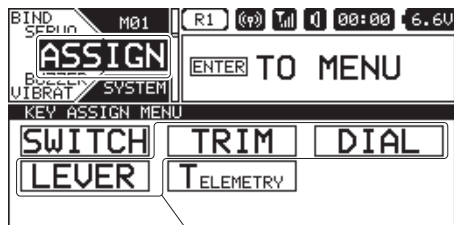


対応受信機の[CH4コネクタ]に外部機器のAUXコネクタ(感度調整用コネクタ)を接続します。



- ・ 外部機器の感度調整をおこなうには
M12S/EXZES ZZで外部機器の感度調整をおこなう場合はAUX2(CH4)の機能が割り当てられたボリューム/レバー/トリムでおこないます。出荷状態ではM12S/EXZES ZZのAUX2はレバーに機能が割り当てられています。用途に合わせて、使いやすい位置(トリム/ダイヤル/レバー)に感度調整をおこなう機能を設定してください。設定を変更する場合はシステムメニュー内のASSIGN(アサイン)機能で設定をおこなってください。

アサイン選択画面



調整機能を割り当てる項目を選択して設定をおこなってください。
※設定についてはプロポの取扱説明書のASSIGN(アサイン)をご覧ください。

